



7月のオープンからこれまでの「きずなハウス」ご報告

七ヶ浜町、企業、NPO 等の皆様や住民の皆様、500 名以上の方にお集まりいただいた『七ヶ浜みんなの家きずなハウス』オープニングから、おかげさまで、はや半年が経ちました。

「きずなハウス」には、駄菓子や『ブランド七ヶ浜（町の名物を七ヶ浜町が認定）』となった「ぼーちゃん焼き」を目当てに遊びにきてくれる子どもたちはじめ、世間話をしに集うお母さま方、観光ついでにお立ち寄りいただいた方、震災から7年近く経過した今でも、それぞれが抱える悩みや、記憶として心に留めておきたいこと、誰かに伝えたいことなどを、問わず語りにお話しされる方など、月平均 1,000 人を超える皆様に、訪れていただいております。

RSY では、これまで多くの皆様のご支援・ご協力を賜りながら、東日本大震災以降、住民の皆様とともに、地域・世代間交流を深める取組を行ってまいりました。今年度は新たに、町の魅力や地域のために自分ができることを活かしたいと考える住民同士が「出会い、繋がり、一緒に取り組む」ことを目的とした、ゆるやかなネットワーク『きずなネット』の設立をサポートし、「町のいいところを人に伝えたい」「もっと住みやすい町にしたい」「ボランティアがしたい」「仲間を作りたい」という住民の皆様の最初の一步を応援しております。これからも、ここ「きずなハウス」を「七ヶ浜で何か活動したい」と思っている人たち同士の『出会いと繋がり』としてご活用いただきながら、支援活動を続けて参りたいと思っております。

以下に、オープニング以降の取組・活動のいくつかをご報告させていただきます。

○「きずなネットまつり」を開催いたしました！

『きずなネット』の結成を記念し、9月17日(日)にきずなハウスにおいて参加団体によるイベントを開催いたしました。

震災で被害を受けた菖蒲田浜の農地をボランティアさんがガレキ撤去等をして整備してできた『なならば農園』で野菜作りをしている「マザーファーム」による採れたて野菜の販売、仮設住宅に入居された方々の趣味を活かした活動が原点の「きずな工房」による手芸品の販売、『震災学習』をきっかけに発足した向洋中学校Fプロジェクトの生徒たちにお手伝いいただき、ハウスに備えられたピザ釜を使っての焼き立てピザの振る舞いなどを行いました。現在『きずなネット』には8団体に参加いただいております、各団体の活動紹介を展示し、ハウスに訪問いただいた皆様に、七ヶ浜で楽しみながら活動している様子をご紹介しました。



きずなネット集合写真

今回出店いただいた『きずなネット』の皆様からも「次はどんなことをしようか?」「自分たちの活動をみんなに知ってもらえるいい機会だった」な

RSY 七ヶ浜の主な取組

9月

9月17日(日)

・きずなネットまつり

9月18日(月・祝)

・きずな食堂 in 松ヶ浜

向洋中学校Fプロジェクトが参加して、地区避難所の窓掃除、近隣公園への看板設置等をし、その後は松ヶ浜地区の皆様との食事交流会を行いました。



9月30日(土)

・きずなハウスをみどりいっぱいにしよう！プロジェクト【第1弾・寄せ植え】

10月

10月7日(土)

・親子防災ワークショップ

震災から6年半が過ぎ、記憶の風化や防災・減災意識の低下を防ぐため、シェイクアウト訓練や非常用持出袋の見せっこを行いました。



10月15日(日)

・きずなハウスをみどりいっぱいにしよう！プロジェクト【第2弾・苗木植栽】
・笹山地区「ちゃせごの会」

10月22日(日)

・被災地学習・交流日帰りバスツアー（訪問先:南三陸町）

復興に向けて、先進的な活動に取り組んでいる南三陸町を訪問し、町の復興に向けて、改めて考えるバスツアーを催行しました。

ど、今後の活動につながる第一歩となりました。

これからも町民の皆様のやりたいことや夢が実現できる場として、きずなネットを中心に交流の輪を広げていきたいと思えます。

○笹山地区にて「ちゃせごの会」を行いました！

今では秋の定番行事となったハロウィンですが、これとよく似た風習「ちゃせご」が、宮城県内各地方にあったのをご存知でしたか？

かつて、この地方では小正月に子ども達が福の神に扮し各家を訪れ、訪ねられたお宅は、お礼として子どもたちにお餅やお菓子を振る舞いました。この度、そんな古き良き風習を再現しようと、10月15日（日）にハロウィンならぬ「ちゃせごの会」として、笹山地区の集団移転団地にて行いました。



「ちゃせご」の様子

当日、子ども達は「きずな工房」製作による福の神の装飾品を身につけ、「アキの方（恵方）からちゃせごに来した（来ました）」という昔ながらの掛け声とともに各家を訪問し、地区避難所にて行う「きずな食堂食事交流会」の招待状を笹山地区全 120 戸にお配りしました。突然の子ども達の訪問に驚きつつも、各お宅からは、昔の風習さながらに、子ども達にお菓子のプレゼントをしていただきました。なかには懐かしさのあまり、目を潤ませながら、ご自身が子どもの時の「ちゃせご」の思い出を語っていただける方もいらっしゃいました。

訪問先には足を悪くされ、交流会への参加に消極的な方もいましたが、送迎サービスを取り入れるなどして、参加しやすい環境づくりに努めました。

「ちゃせご」をきっかけにした戸別訪問の過程で、日頃から家にこもりがちなお高齢者の生活状況が良く分かり、訪問した子ども達との間に「顔見知り」の関係もでき、地域での新たな見守り体制づくりのきっかけになったと思います。

食事交流会では郷土料理「しっぽこ汁」を振る舞い、ご参加いただいたお年寄りから子ども達に、当時の「ちゃせご」の様子や「しっぽこ汁」の名前の由来などをお話いただくなど、世代間交流ができる場となりました。今後も地区を広げ、世代間交流の場を設けていければと思います。

○子どもサンタがやってくる！

12月、地区の子ども達がサンタに扮し、七ヶ浜町各地区の災害公営住宅・集団移転団地の全戸約400戸を訪れ、「クリスマスプレゼント」をお配りしました。ご高齢の一人暮らしや夫婦で暮らす世帯が増えてきているなか、震災後に新たに形成された環境の中での暮らしの様子をお伺いするとともに、子ども達との世代間交流のきっかけづくりとなりました。（※本取組の実施にあたり、住友化学株式会社様から多大なる物資の提供をいただきました。厚く御礼申し上げます。）



プレゼントを手渡す子ども達

11月

11月11日(土)

・きずなハウスをみどりで
いっぱいしよう！プロジェクト【第3弾・畑作り】

11月18日(土)

・「出張きずなハウス」 菖蒲田
浜地区ぼっけ汁祭り出店

11月21日(火)、22日(水)

宮崎県から、きずなハウス及び松ヶ浜地区避難所にて足湯交流会を行うため、ボランティアさんが訪問していただきました。



12月

12月16日(土)ほか

・子どもサンタがやってくる！

12月17日(日)

愛知県安城市から、きずなハウスにてお正月飾りのワークショップを行うため、ボランティアさんが訪問していただきました。



ほか

七ヶ浜みんなの家きずなハウス

〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
中央公民館敷地内

TEL : 090-9020-5887 / Mail : info@rsy-nagoya.com
運営 : 認定 NPO 法人レスキューストックヤード

きずなハウス情報は
こちらから →
face book  にて
「きずなハウス」で
ご検索ください。

